

広報・教育部門

応募事例名 魅力発信・改革プロジェクト

応募団体名:福岡市道路下水道局

地元業界総力で将来の担い手確保推進「都市インフラプロモーション」

応募事例の概要

将来の福岡市を支える子どもたちに、下水道をはじめ都市インフラの魅力や仕事の楽しさを伝えるため、関係業界が総力を挙げて新たな魅力発信の取り組みを推進！

2日間で約 **18,500** 人が来場！

1 将来の技術者の人材獲得を目的とした子ども向け技術体験イベント



ー重機操作体験ー



ー下水管内カメラ調査体験ー



ー市職員コスチュームでマンホール蓋開け体験



ー当日の賑わいの様子ー

関係**15**団体
が出展協力

2 お仕事教室～子どもたちに上下水道などの役割や市技術職員の魅力を紹介～



ーお仕事教室の様子ー



ー校区内で行う局の取り組みを動画でPRー



ー下水道などの役割をクイズを交えて紹介ー

PRポイント

大学生や高校生などへのリクルート活動では、地元の建設業界に対する担い手確保の取り組みの実効性がないため、業界とのヒアリングを重ねた上で、主に小学生や保護者を対象として、地元の建設業界の魅力や楽しさを伝える取り組みを実施した。

初開催の昨年度に引き続き今年も5月に開催。行政は水道や港湾等の8団体、外部は建設、測量設計等の関連地場団体を始め、全国上下水道コンサルタント協会や日本下水道管路管理業協会、日本グラウトマンホール工業会等15団体が出展協力。

取組に関するエピソード

各出展者が建設業という社会貢献度の高い仕事を子どもたちにどう伝えるか工夫を凝らして企画し、共に取り組む過程で、行政・業界という垣根を越えた一体感や連携が生まれた。

いずれの取り組みも、子どもたちに技術体験の補助や講義を行う中で子どもたちの反応や笑顔に触れ、業界団体や市職員の提供側も楽しみ、自らの業務の価値の高さを再認識。担い手確保の目的の他に技術者としてのモチベーション向上といった好循環が生み出された。

総務課 広報・調整係長
稗田 浩紀